

主催：戦後障害者福祉における『相談支援』の形成過程研究会

協賛：明治学院大学 社会学・社会福祉学会

## シンポジウム

# 「相談支援実践に求められるもの —実践の継承と転換—」

戦後70年という節目を通して、私たちは様々な転換点を再認識する機会となりました。障害のある人たちの生活支援として生み出された「障害者福祉」もその歴史の中に存在してきました。社会福祉サービスを利用する場合、措置制度から契約制度へという制度変化は大きな転換点であったといえます。

さて、契約制度の下、サービス利用に際してサービス等利用計画が実施され、多くが民間に委託されている相談支援事業の役割はますます強められているようです。しかし一方で、「サービスが先にあっての相談ってなんだろう?」「計画するだけで手いっぱい本人さんのことが見えているのだろうか?」など、戸惑いの声も聞かれます。

戦後培った「相談の実践」は措置制度から契約制度の転換でどのように受け継がれたのか、あるいは、抹消されてしまったのかという疑問を抱きました。そこで、もう一度実践の流れのなかでとらえ返し、実践で何を積み上げてきたのか、そして、これからの相談の実践に求められるものは何か、問いかけてみることにしました。幸い、たくさんの方々のご協力を得られ、さまざまな発見がありました。

調査結果の報告をさせていただき、意見を交わしたいと思います。そして、「相談」において、その主役になりにくかった歴史をもつ知的障害のある人にとっての相談のあり方についても問い返してみたいと思います。年度末のご多忙の時期ですが、ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。なお、研究の成果を 中野敏子編著(2016年発行)『戦後障害者福祉における「相談支援」の形成過程研究』(高菅出版)としてまとめました。ご意見を聞かせていただけたら幸いです。

○日時：2016年3月12日(土) 13:30~16:30

○場所：明治学院大学白金キャンパス 2号館地下 2101教室

○参加費無料

○申込み方法：参加申込書にて2月20日(土)までにFAXまたは必要事項を記入の上メールでお申し込みください(配慮が必要な方は事前にご連絡いただくと助かります)

<プログラム>

はじめに シンポジウムのねらい 中野敏子(明治学院大学社会学部教授) 13:30

第一部 調査結果の報告と問題提起 13:45

①相談実践の「継承と転換」

中野敏子・成田すみれ(社会福祉法人試行会青葉台地域ケアプラザ所長)

②知的障害当事者が望む「相談支援とは」 坂元暁子(文京学院大学人間学部助手)

第二部 シンポジウム「相談支援実践に求められるもの」 14:30

シンポジスト：大久保 薫 氏(札幌市基幹相談支援センター

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール センター長)

吉村明夫 氏(大阪 社会福祉法人永寿の里 かけはし 主任相談員)

藤巻鉄士 氏(練馬区立大泉障害者地域生活支援センターさくら センター長)

司会進行：中野敏子

**\*なお、当日、会場にて本の販売も致します。**

# シンポジウム申込書（2016年2月20日締切）

FAX 049-261-6327（坂元職場）

メール [asakamoto@bgu.ac.jp](mailto:asakamoto@bgu.ac.jp)（〃）

お名前		ご所属	
連絡先	電話番号	FAX 番号	
	メールアドレス		
その他	（何かご配慮が必要なことなどございましたらお書きください）		

【問合せ・連絡先】坂元（職場） ☎ 049-261-6324

中野（職場） ☎/FAX 03-5421-5558

## <明治学院大学白金キャンパスへのアクセス>



### 最寄駅からのアクセス

- 品川駅から  
[ JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・東海道新幹線 / 京浜急行線 ]  
高輪口より都営バス「目黒駅前」行き「明治学院前」下車  
※徒歩約17分
- 目黒駅から  
[ JR 山手線 / 東急目黒線 / 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線 ]  
東口より都営バス「大井競馬場前」行き「明治学院前」下車  
※徒歩約20分
- 白金台駅から  
[ 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線 ] 2番出口より徒歩約7分
- 白金高輪駅から  
[ 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線 ] 1番出口 (目黒駅側 / エレベーター有) より徒歩約7分
- 高輪台駅から  
[ 都営地下鉄浅草線 ] A2番出口より徒歩約7分